

効果と留意点について

項目		効果	留意点
基幹バス (幹線・支線バスによるバス網再編)		<ul style="list-style-type: none"> ・車両運用の効率化と需要に応じたサービス向上 ・系統が短くなることによる定時運行の可能性の向上 ・わかりやすい路線体系 ・幹線・支線ごとの需要に見合った車両の使用 	<ul style="list-style-type: none"> ・物理的抵抗 → 水平・垂直移動距離を極力削減 ・時間的抵抗 → ダイヤ調整による待ち時間の削減 ・運賃面での抵抗 → 乗り継ぎ運賃の導入等 ・心理的な抵抗 → 情報案内の工夫 ・基幹・幹線バスの定時性の確保 ・基幹バスの運行頻度の確保
トランジットセンター (乗り継ぎの発生)			
運行内容 (時間帯ごとの特性に応じた運行)		<ul style="list-style-type: none"> ・時間帯ごとの需要の特性に応じた効率的な車両の運用 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間帯ごとのサービスの違いによる利用者の混乱防止 → サービス内容の案内の徹底
J R 宇都宮駅での東西	分離	<ul style="list-style-type: none"> ・J R 宇都宮駅東西間のバス迂回にともなう時間的ロス発生抑制 ・東西接続に必要な工事費用などの抑制 	<ul style="list-style-type: none"> ・JR 宇都宮駅での徒歩等での乗り継ぎへの対応 → 動く歩道の設置等による乗り継ぎ抵抗の軽減 → 乗換案内誘導の徹底
	直結	<ul style="list-style-type: none"> ・JR 宇都宮駅東西間の連携強化 ・時間短縮 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業手法等の整理
連節バスの導入		<ul style="list-style-type: none"> ・車両1台あたりの輸送効率の向上 (大通りのバス走行台数の削減) ・複数の出入口利用による、バス停停車時間の短縮 	<ul style="list-style-type: none"> ・大型車両に対応した運行ルートの設定 ・大型車両に対応した施設整備(必要に応じて道路改良) → 駅前広場、バス停統合 ・車両の経費問題 ・需要に応じた運行の検討
その他	専用レーン・優先レーン拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの定時性向上 ・走行時間の短縮 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般車両の走行性の確保 → 一般車両への影響等を考慮した路線の確保 ・優先レーン等への一般車の走行防止 → ドライバーのマナー向上
	PTPS の導入		<ul style="list-style-type: none"> ・交差道路側の走行性の確保 → 周辺道路への影響に配慮した路線の確保
	テラス型バス停の設置 (急行バス停留所)	<ul style="list-style-type: none"> ・路上駐車車両等の影響を受けないバスの停車・発進 ・バス停への正着(安全性向上、バリアフリー化) ・バス待ち空間の確保(歩道の通行を阻害しない) 	<ul style="list-style-type: none"> ・車線の削減(幅員の縮小)による一般車両への影響の対応 → バス停部の明示など安全性の確保 ・沿道住民・市民との合意形成